

千葉市 打ち合わせメモ 6

千葉市幕張新サテライトオフィス 殿

宇留賀 英夫

## ギャンブル愛好家に対する考察

(回答は不要です)

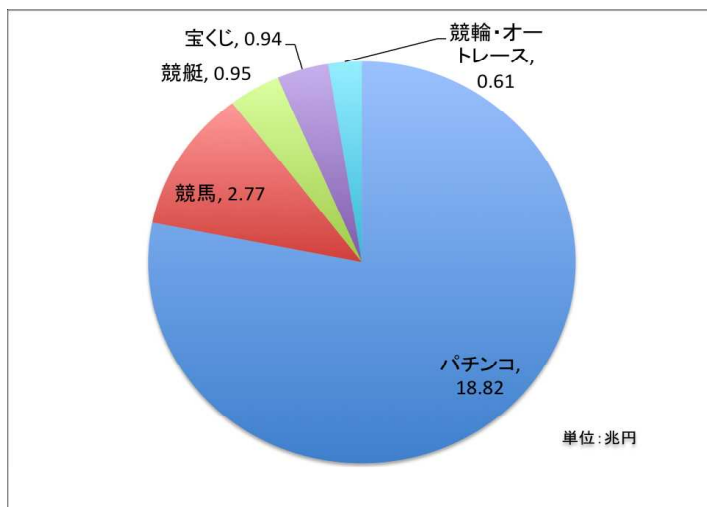
報告書では「ギャンブル愛好家」が度々出てくる。108ページでは「ギャンブル愛好家」として

「レジャー白書」で公表されているパチンコ及び中央競馬会の参加率を... ギャンブル愛好家の比率を10%とした。

とある。

下記からパチンコ及び中央競馬会との売り上げ比率を見してみる。

<http://blogos.com/article/98799/>



「レジャー白書2014年」から制作したようである。

この図表から「ギャンブル愛好家」を「パチンコ愛好家」として話を進める。

それでは「レジャー白書2014」を調べてみよう。「レジャー白書」は有料なので孫引き。

### パチンコに関して

「レジャー白書2014 発表 パチンコ参加人口は大台割れの970万人」

「レジャー白書2014」で検索すれば下記以外からもヒットする。

<http://www.yugitsushin.jp/news/etc/%e3%83%ac%e3%82%b8%e3%83%a3%e3%83%bc%e7%99%bd%e6%9b%b82014%e7%99%ba%e8%a1%a8%e3%80%80%e3%83%91%e3%83%81%e3%83%b>

3%e3%82%b3%e5%8f%82%e5%8a%a0%e4%ba%ba%e5%8f%a3%e3%81%af%e5%a4%a7%e5%8f%b0%e5%89%b2/

公益財団法人 日本生産性本部は 8 月 4 日、レジャー白書 2014 を発表し、2013 年におけるパチンコ参加人口は前の年から 140 万人減った 970 万人だったことを明らかにした。

1 年間におけるパチンコの平均活動回数は、前の年からほぼ横ばいの 27.5 回。年の平均費用は 2 万 3,900 円減った 7 万 3,200 円で、結果、1 回当たりの平均費用も 880 円減の 2,660 円に落ち込んだ。市場規模は 2,480 億円減少の 18 兆 8,180 億円。前の年で 9 年ぶりに増加していたが、今回、参加人口と平均費用の減少の影響を受け、ふたたび下落に転じている。

ここから計算できることは

- A. パチンコ人口の比率 970 万人 / 約 1 億人 (成人人口) = 約 10%
- B. 年間 1 人当たりの掛け金 (貸し玉料) 18 兆 8,180 円 / 970 万人 = 194 万円
- C. 1 人当たりの 1 回の掛け金 (貸し玉料) 194 万円 / 27.5 回 = 約 7 万 5 千 4 百 5 円
- D. 1 人 1 回の換金 (戻り金) 約 7 万 5 千 4 百 5 円 - 2,660 円 = 7 万 1, 8 8 5 円
- E. 損率 (?) 2,660 円 / 7 万 5 千 4 百 5 円 = 約 3.8%
- F. パチンコ業界の粗利益 7 万 3,200 × 970 万人 = 約 7, 1 0 0 億円
- G. パチンコ 1 店舗の粗利益 7,100 億円 / 12,000 = 約 6, 0 0 0 万円  
全国のパチンコ店は約 12, 0 0 0 店
- H. 客への戻り金 18 兆 8,180 億円 - 7,100 億円 = 18 兆 1, 0 8 0 億円

パチンコの売り上げ (貸し玉料) 18 兆 8,180 万円と聞くビックリするが実際は 18 兆 1,080 億円は客に戻ってる。1 店舗の粗収入、約 6, 0 0 0 万円は以外と少ないやっつけていける? 「パチンコ冬の時代」と言われてるのも納得できる。介護事業等の副業もやっているとネットにあったのも頷ける。

結局の所「パチンコ愛好家」は自分の財布から 1 回当たり約 7 万円の金を出し入れし、2, 6 6 0 円を損してる計算になる。年間 7 万 3, 2 0 0 円の損である。ギリギリの攻防をしている?

これは全くの平均で、年間 2 0 0 万円損してる人もいるし、パチプロみたいに数千万円儲けてる人もいる。「レジャー白書」に懐疑的な人もいる。

こうした数字を見れば報告書にあるよう入場料 1 万を払ってまで「パチンコ愛好家」はカジノには行かない。又、想定のお客単価 2 万 6 千円は 1 桁多い。

海外のカジノ運営会社は「パチンコ愛好家」に期待が高いようであるが、19 兆円が負け金と勘違いしてる可能性が高い。

以上

A. 分子と分母の取り違いを訂正 2015/03/09